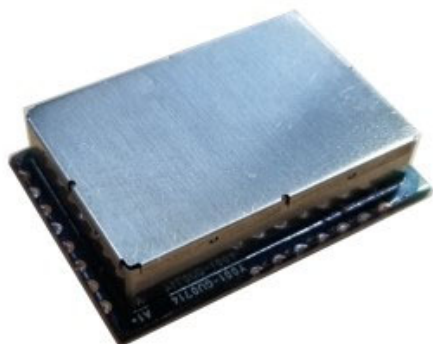
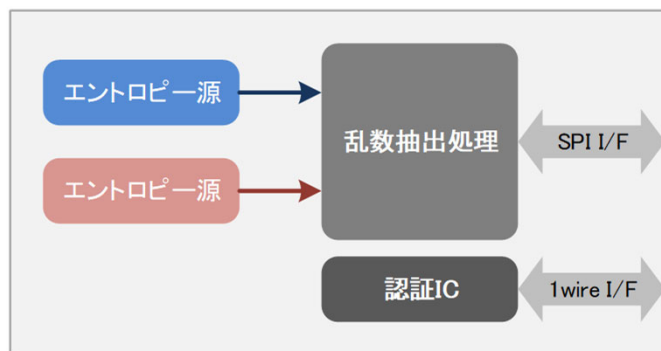


物理乱数チップ



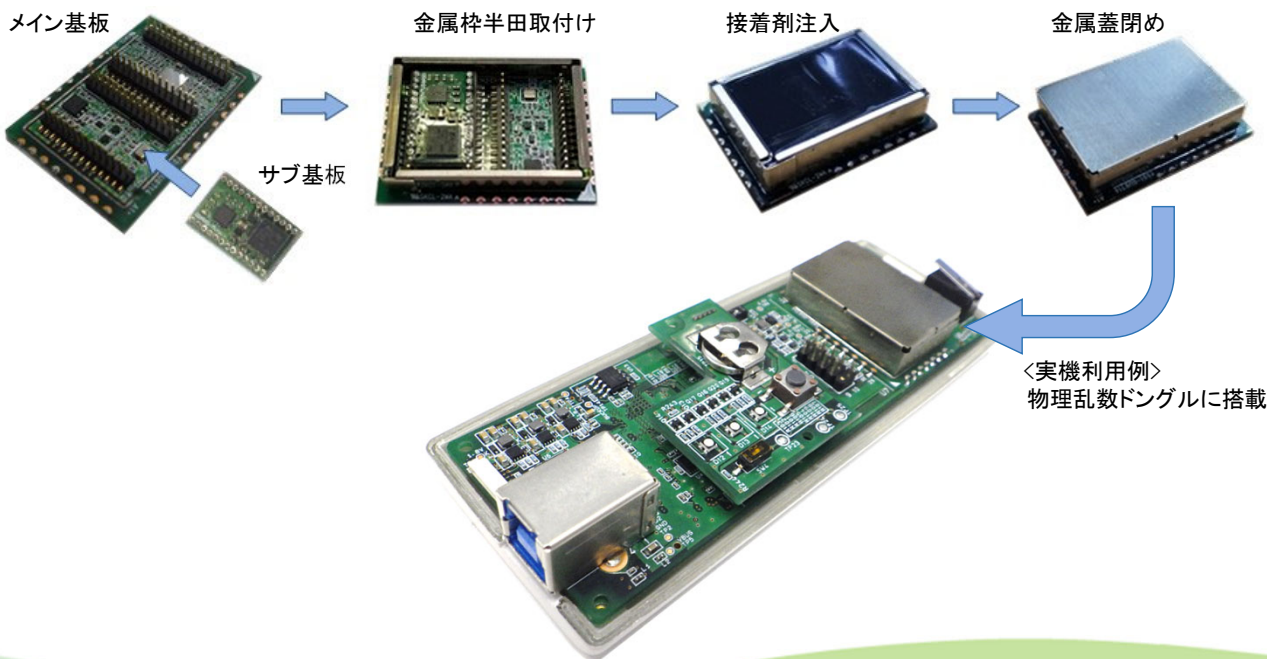
外観



ブロック構成図

○ 特徴

- ・ランダムな物理現象に基づき、真性乱数を生成
- ・熱雑音、量子雑音など複数のエントロピー源を搭載可能(特許出願準備中)
- ・搭載可能なエントロピー源は2種類(2021年3月時点)
- ・乱数抽出回路には情報通信研究機構(NICT)考案の自己鍛錬型エクストラクタ(特開2018-147092)を採用
(NIST Special Publication 800-22/-90Bをパス)
- ・物理乱数生成性能:10Mbps以上
- ・セキュリティー機能を搭載
 - a) ECDSA採用のデバイス認証IC搭載し、個体識別が可能
 - b) 金属カバー内部は、熱伝導性接着剤を充填し、容易な分解を防御する構造
- ・サイズ:24.87(W)×35.3(D)×7.9(H) mm。
- ・取り付け:端面スルーホール29ピン 半田付け



仕様は予告なく変更することがあります